

R4年度

区市町村アンケート結果報告 (48自治体分)

東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター

調査概要

調査目的

- 区市町村における通いの場づくりの進捗状況把握

調査時期

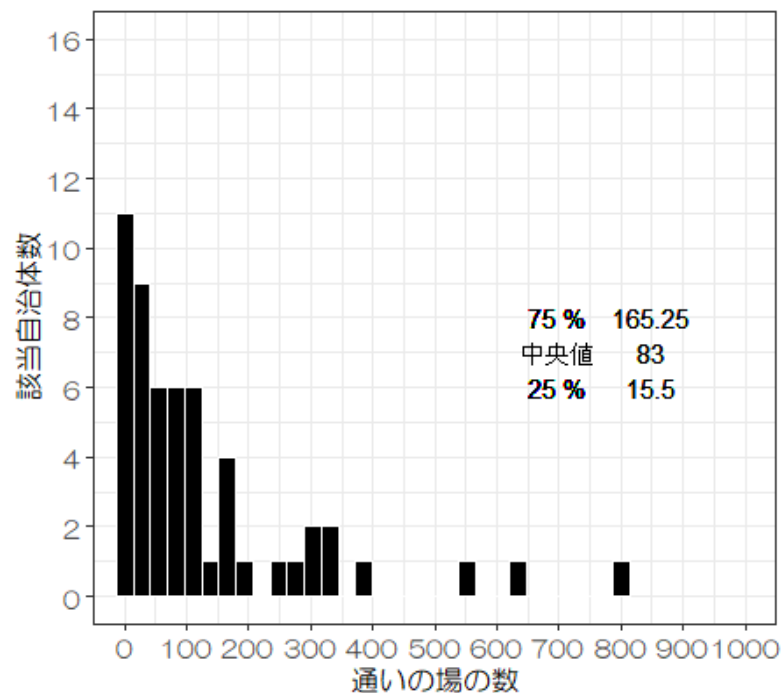
- 2022年5月20日～6月2日

対象者および調査方法

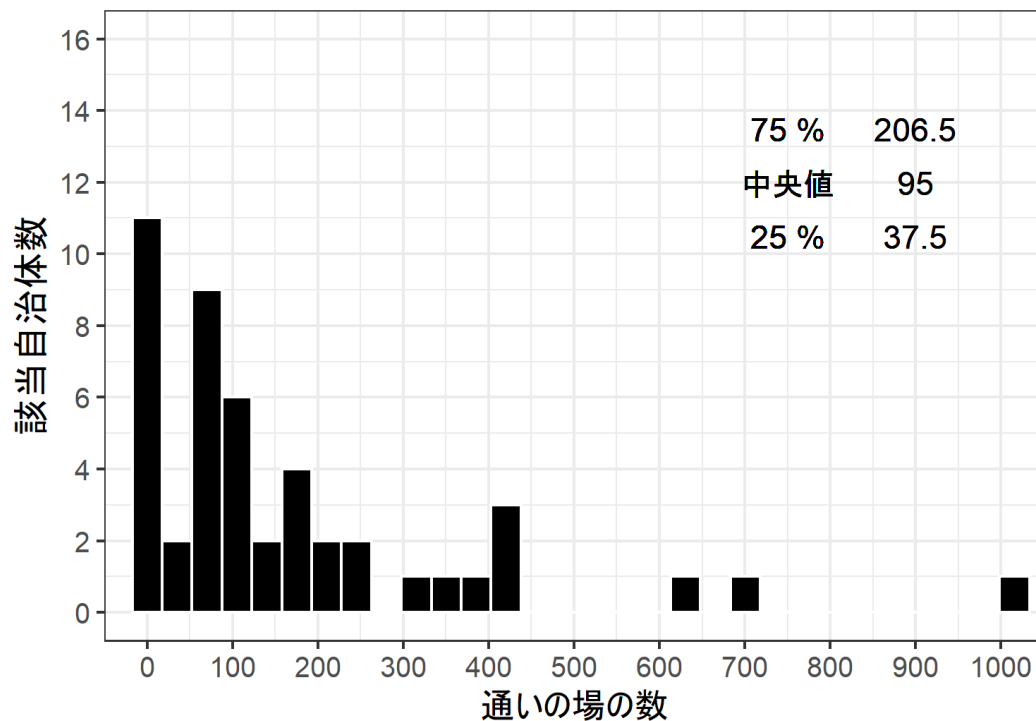
- 各自治体の介護予防担当者（ $n = 62$ ）にメールでアンケートを送付し、回答後に返信してもらった。
- 未回答項目は含めずに解析を行った。

設問1：各自治体における通いの場の総数 昨年度の調査結果との比較

通いの場の総数
(令和3年3月末時点)



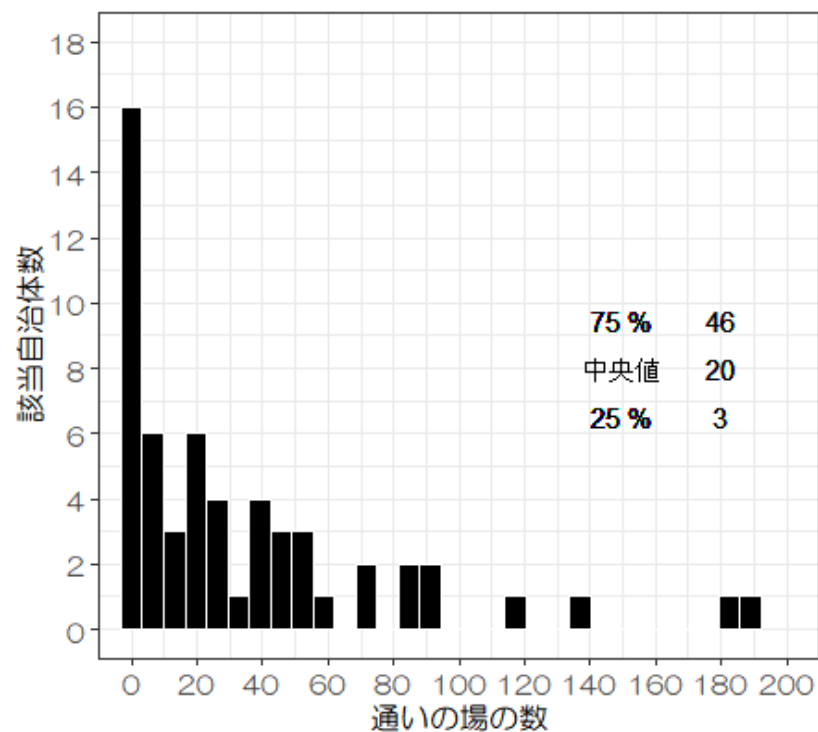
通いの場の総数
(令和4年4月末時点)



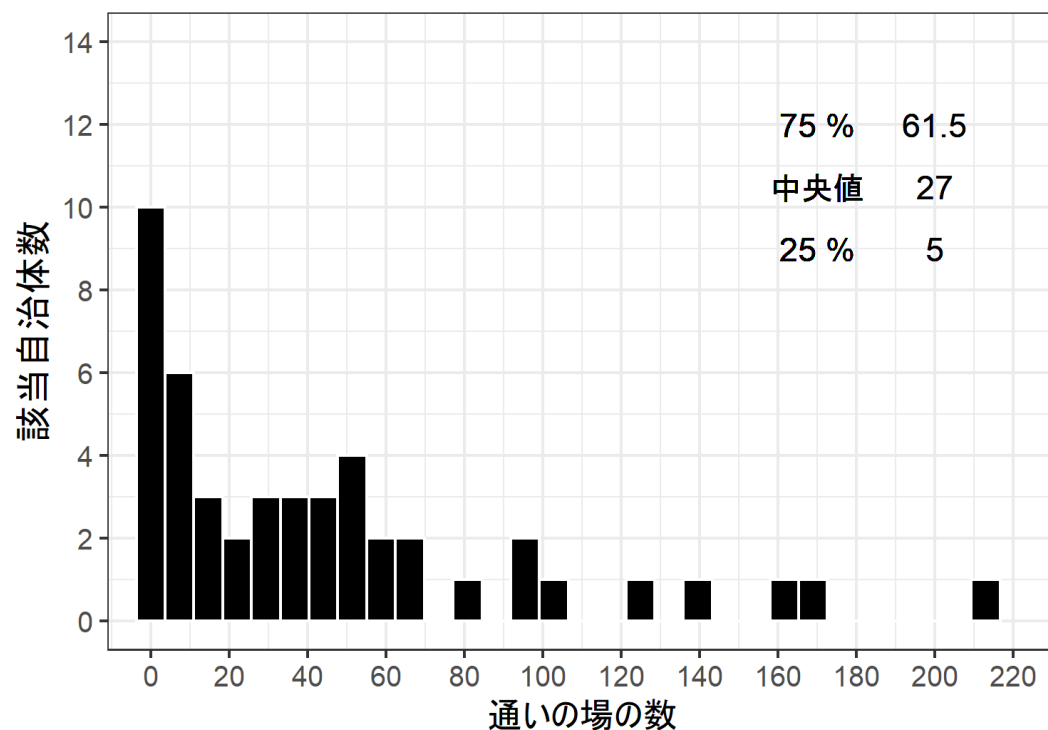
不明・未回答：15自治体

設問2：各自治体の週1回以上の体操の通いの場 昨年度の調査結果との比較

週1回以上の体操の通いの場
(令和3年3月末時点)



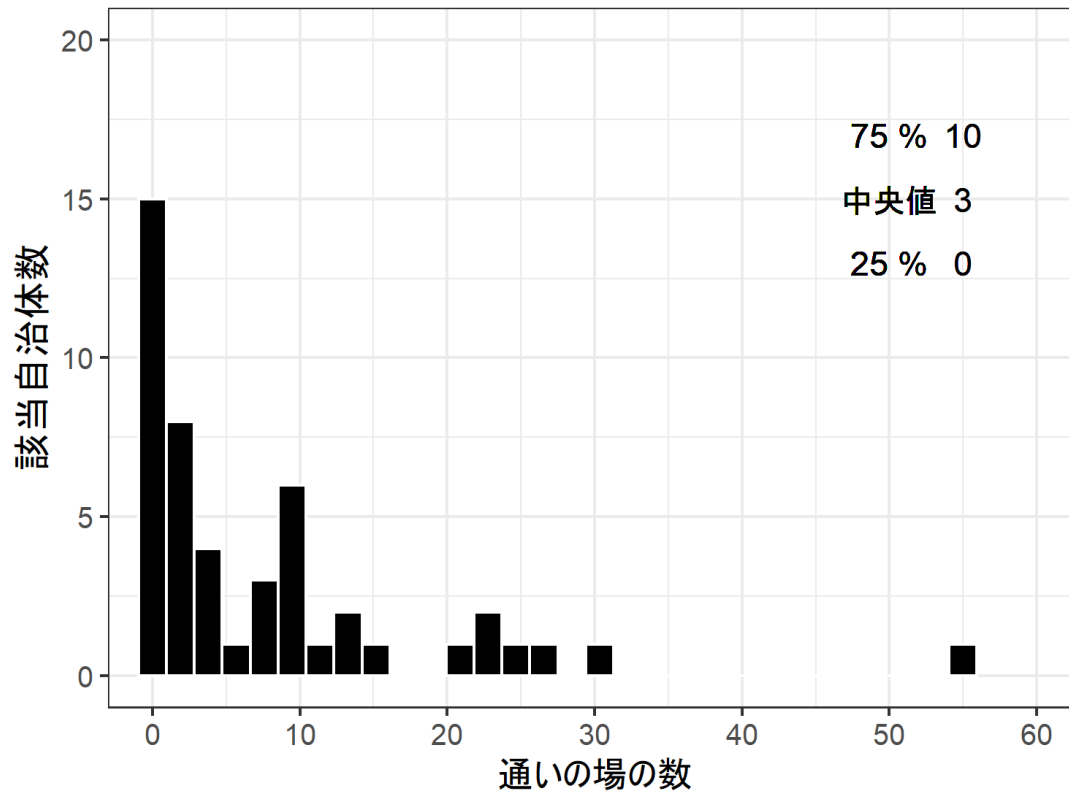
週1回以上の体操の通いの場
(令和4年4月末時点)



不明・未回答：15自治体

設問4-5：昨年度、新規に立ち上げた通いの場の数および継続状況

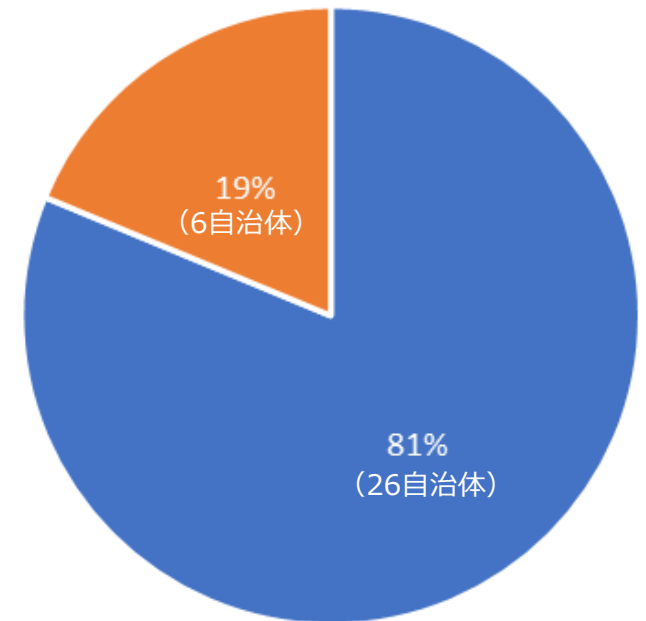
昨年度新たに立ち上がった通いの場の数



未回答：14自治体

新規に立ち上げた通いの場は
全て継続している

■ はい ■ いいえ

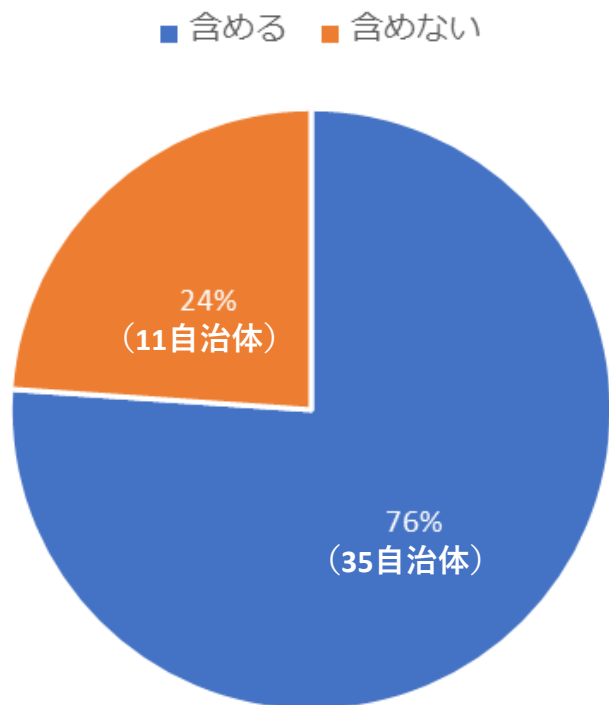


不明・未回答：30自治体

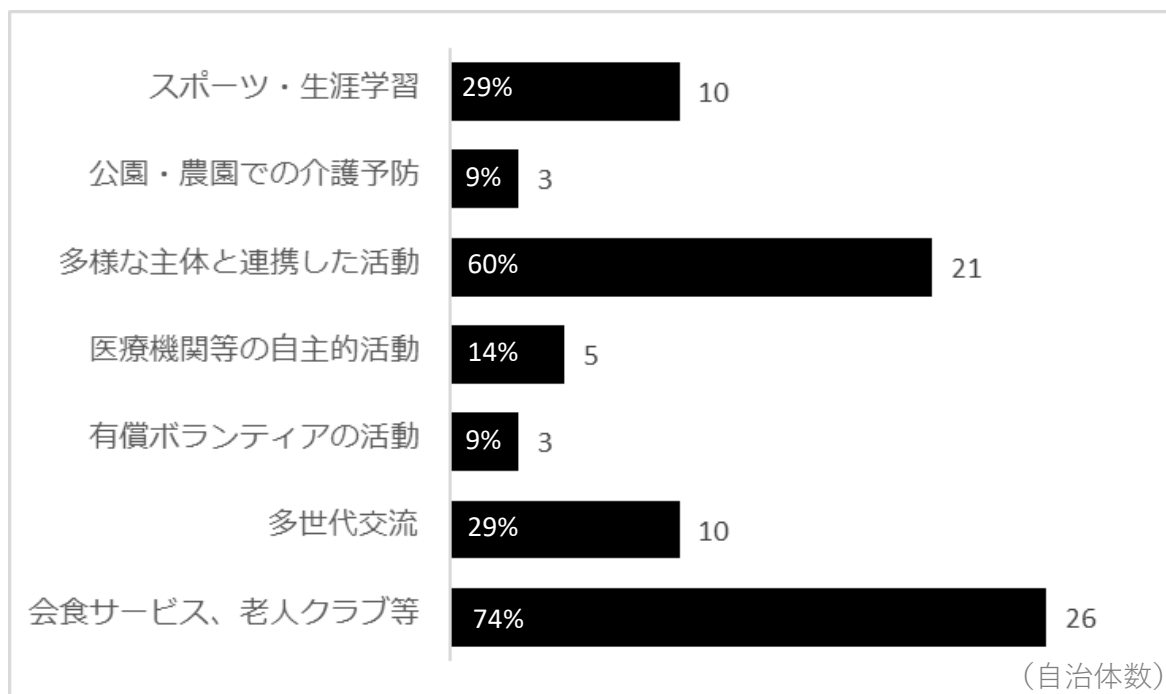
設問6-7：一般介護予防事業以外の財源で実施している通いの場の状況(複数回答)

※設問7（右）は、設問6（左）にて、含めると回答した自治体のみ回答

一般介護予防事業以外の財源で
実施している事業を
通いの場として合算するか

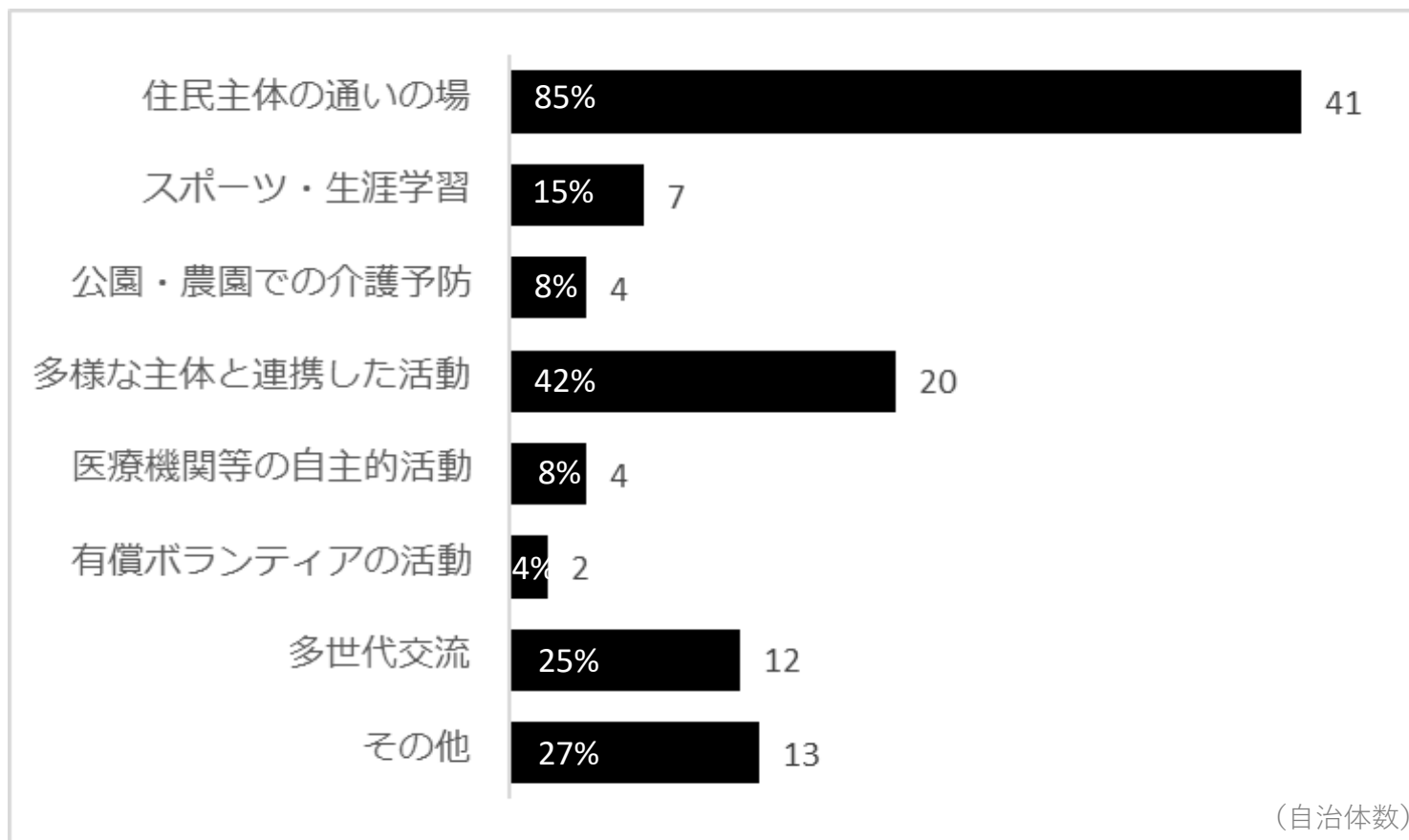


一般介護予防事業以外の財源で
実施している事業の通いの場
(35自治体)



設問8：現在注力している通いの場の施策

(複数回答)



未回答：14自治体

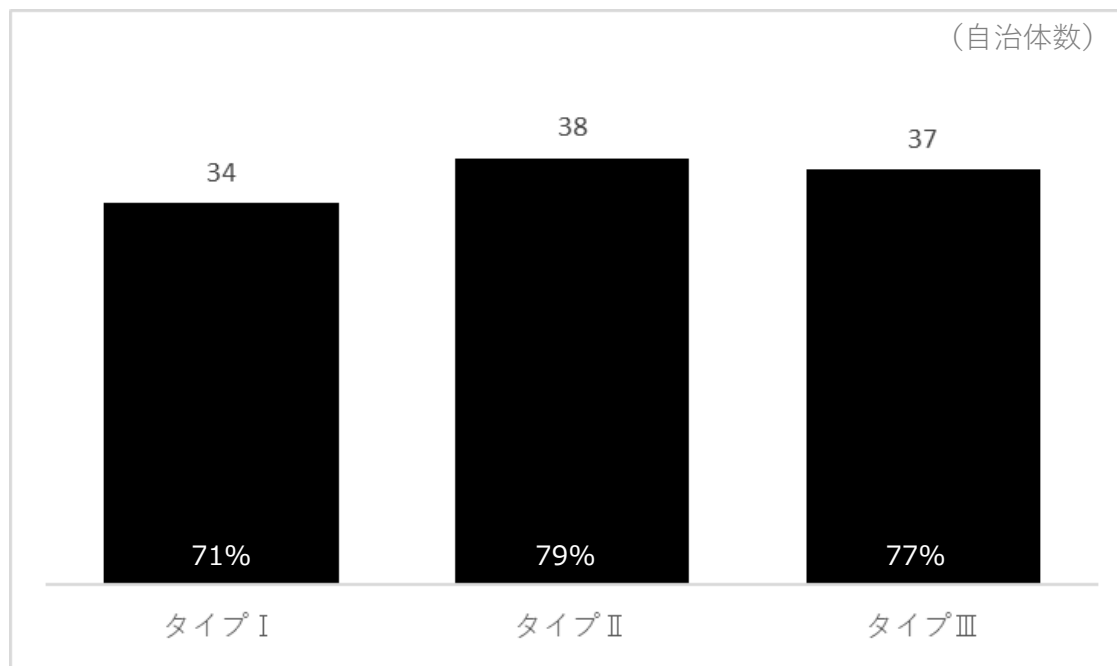
「その他」の内容

- 老人クラブ活動
- ボランティアポイント
- オンライン活動
- リハ職によるアウトリーチによる助言・支援
- 一般会計で実施する住民主体の通いの場
- など

設問10：通いの場の主目的の把握状況

(複数回答)

把握できている通いの場
(主目的別)



未回答：14自治体

タイプⅠ：共通の生きがい・楽しみを主目的にした活動。

⇒趣味活動（運動系、文化系活動等）、就労的活動、社会貢献活動など。

タイプⅡ：交流（孤立予防）を主目的とする活動。

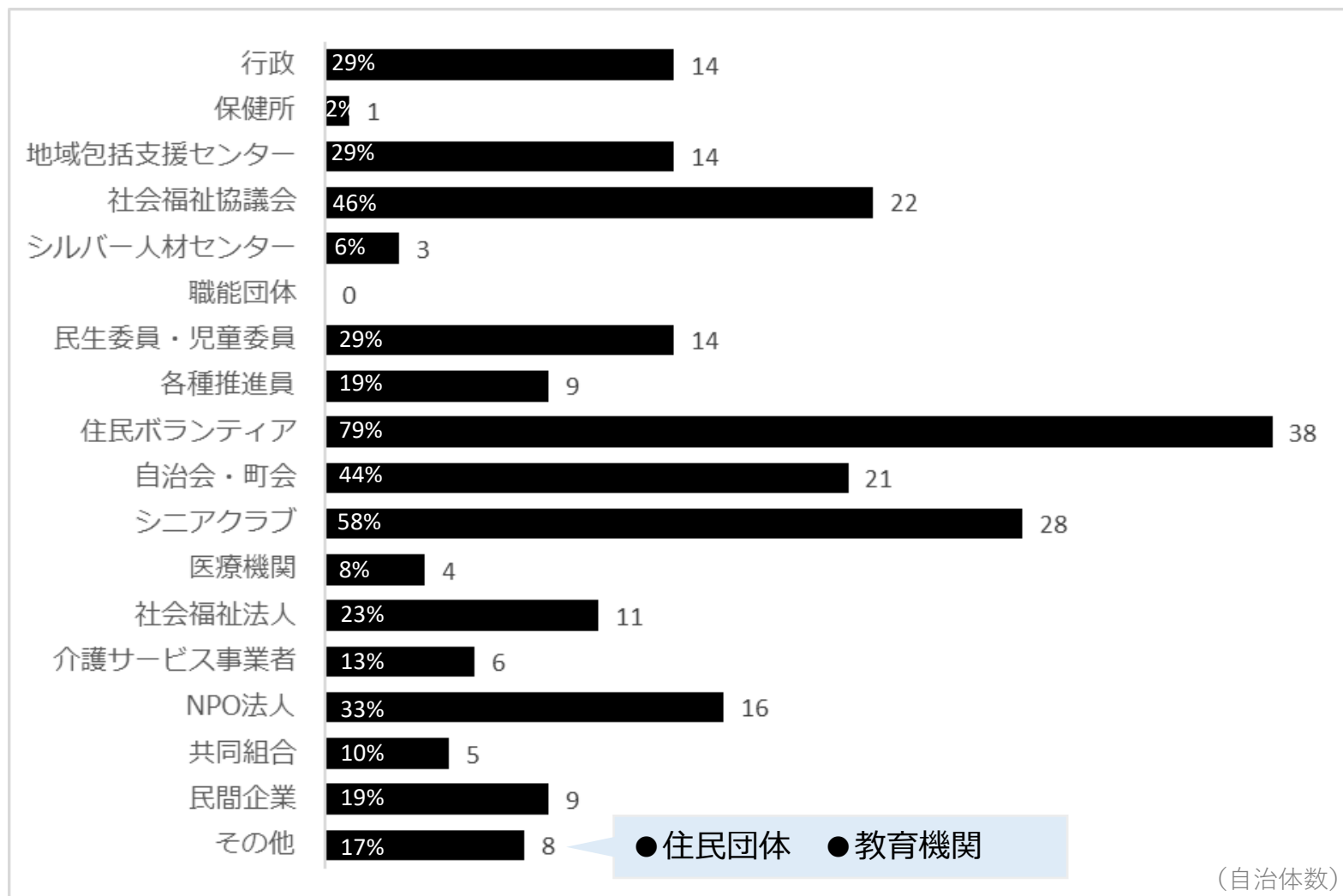
⇒住民組織が運営するサロン、地域の茶の間、老人クラブなど。

タイプⅢ：心身機能維持・向上などを主目的とした活動。

⇒住民組織が運営する体操グループ。

設問13：活動している通いの場の運営主体

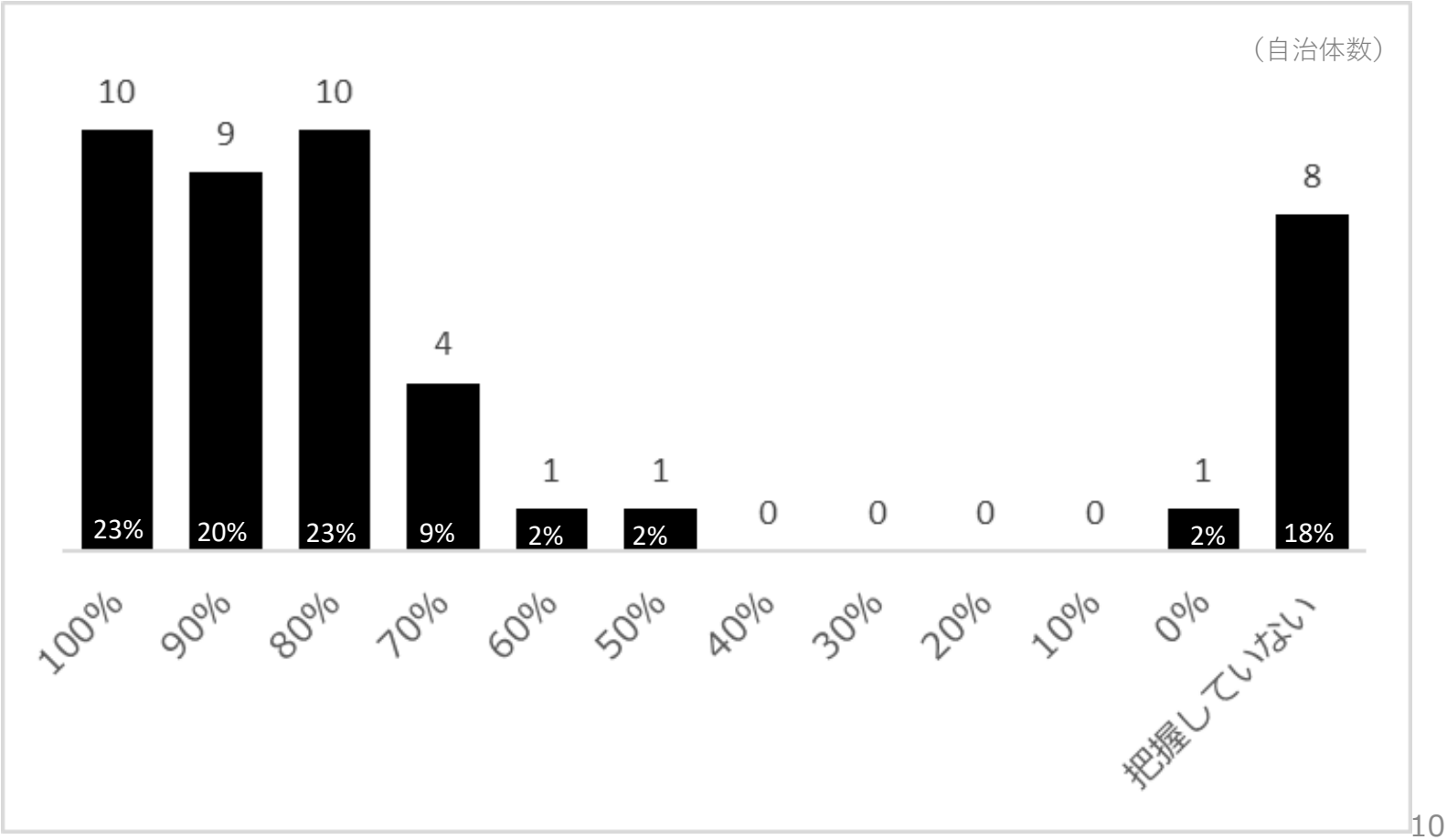
(複数回答)



設問15 : コロナ禍前（令和元年12月頃）の状況と比べ、どの程度の通いの場が活動しているか

※コロナ禍前よりも活動している通いの場が多い場合も100%と回答

通いの場活動率の回復状況

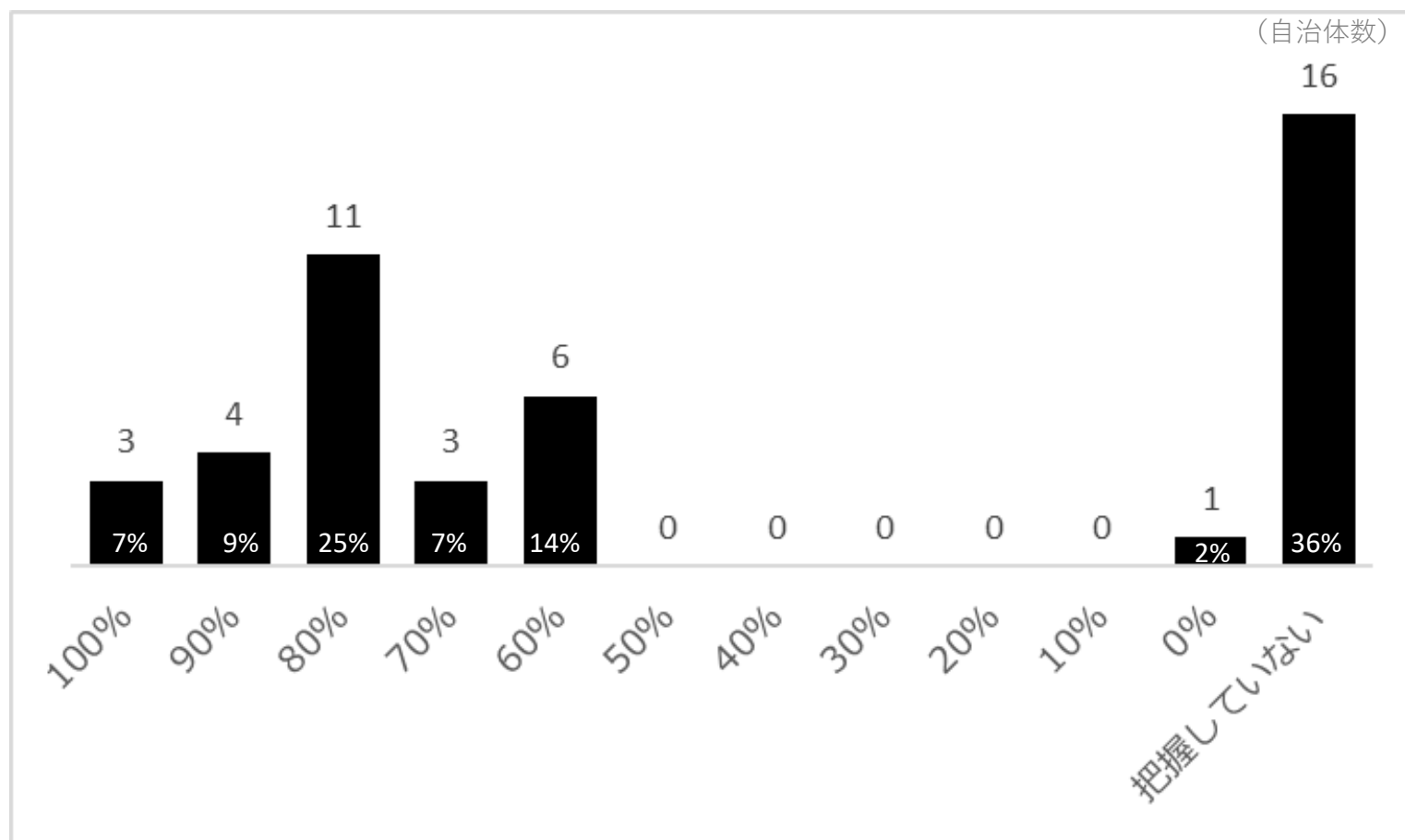


不明・未回答：18自治体

設問16： コロナ禍前（令和元年12月頃）と比べ、 通いの場への参加者数の平均は どの程度回復しているか

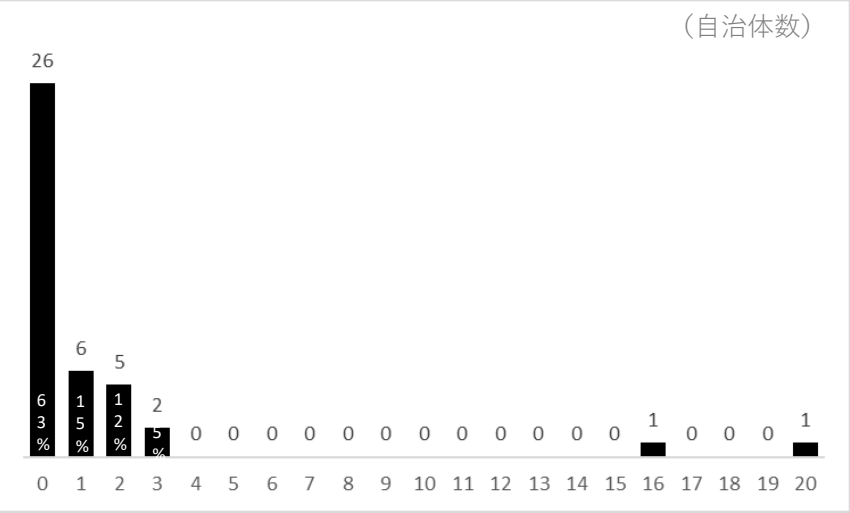
※コロナ禍前よりも平均参加者数が多い場合も100%と回答

住民参加率の回復状況



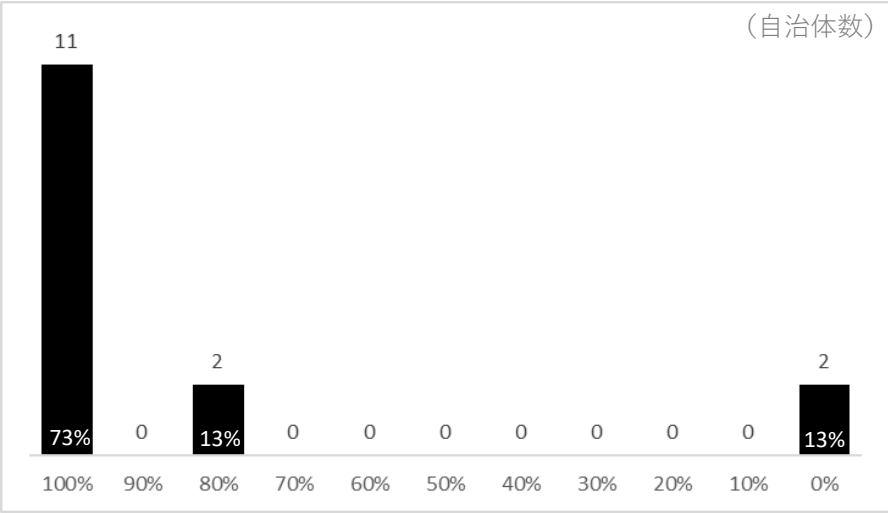
設問20-21：コロナ禍において立ち上がったオンラインを活用した通いの場とその継続割合

オンラインを活用した通いの場の数



不明・未回答：21自治体

オンラインを活用した通いの場の継続割合



※オンラインを活用した通いの場が1件以上の自治体（15自治体）